

カメラ ま ち の 出 来 事 あらかると

広報たかはし

広報たかはし



迫力ある“舞”を堪能 (5月8日 成羽町日名交流館かぐら)

江戸後期に現在の備中神楽の基礎を確立した西林国橋を顕彰する「国橋まつり大神楽大会」(成羽町備中神楽振興会など主催)が開かれました。県内の名神楽太夫による熱演に、訪れた神楽ファン約1000人は、迫力ある舞を堪能しました。会場の外では、各種団体によるバザーが軒をつらね、にぎわいを見せていました。

弥高つつじ祭 (4月17日 川上町高山)

弥高山公園で「弥高つつじ祭」(川上町観光協会主催)が開かれました。ツツジは、まだ咲き始めだったものの、訪れた親子連れら約1万人は、春の心地よい風を受け、お弁当を広げるなどし、思い思いに過ごしました。ステージでは、子供神楽やバルーンショーなどが行われ大変にぎわいました。



広げよう! 健康づくりの楽しさを (4月25日 備中総合センター)

「異常のない健康」から「生き甲斐のある健康へ」をスローガンに備中町健康なまちづくり応援団が今年度の活動の方針を話し合いました。

重点事業は「出前活動」(町内各地区へ出向き健康づくりの大切さや楽しさを伝える)に決定。ユーモアあふれる健康づくりの発表や栄養委員との合同研修会も開かれ「健康体操」で気持ちのよい汗を流しました。



中井でマス釣り大会

(5月1日 中井町佐伏川)

中井町西方の佐伏川でゴールデンウィーク恒例となった「河川沿いの清掃とマス釣り大会」(同町清流を守る会主催)が開かれました。この日は雨天にもかかわらず市内外から約500人が参加。約60mをせき止めた川にマス3500匹とヤマメ500匹を放流。参加者は、素早くさおを引き揚げ楽しんでいました。

豊かな自然を守るのがねらいで、毎年事前に川清掃を行いますが、今回は雨のため中止されました。今年で10回目。

100歳おめでとうございます

(5月9日 川上診療所)

金尾シメノさん(川上町仁賀)が100歳の誕生日を迎え、市長らが川上診療所を訪問して長寿を祝いました。花束や記念品を手渡されると満面の笑みを浮かべて感謝の言葉を述べられました。長寿の秘訣は「暴飲暴食はしないこと」だそうです。市内の100歳以上の人は、5月9日現在で20人(男性1人、女性19人)。



入館者60万人突破

(5月2日 朝霧温泉ゆ・ら・ら)

市健康増進施設「朝霧温泉ゆ・ら・ら」の入館者が60万人を突破し、記念セレモニーが行われました。60万人目は、福山市幕山台から来館した、森内勝夫さん・アヤ子さん夫妻。花束と入場券や羽毛布団などの記念品が贈られました。目標より約6ヵ月早い60万人突破。砂風呂やプールなどが人気のようです。

たかうね桜まつり

(4月17日 宇治町本郷)

“備中宇治彩りの山里”「たかうね桜の森公園」で第3回桜まつりが開かれました。大正琴や和太鼓など演芸が行われる中、新酒やかす汁が振る舞われ、来場者は陽春の中楽しい一日を過ごしました。同公園は地域住民が2001年に2001本の桜を植樹し整備しました。



子供の成長を願って

(4月26日～5月8日 有漢生涯学習センター)

有漢公民館と教育委員会有漢分室は、子どもたちの成長を願って「端午の節句展」を開きました。展示された五月人形やかぶとなどは、市民から出展いただいたもので計19点。訪れた親子連れらは、興味深く見入っていました。